

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

## 2021・9月号

石川県学校生活協創立 72 年目 健康経営 (健康・清潔・迅速・丁寧・挑戦・学習・笑顔)

### 秋の全員利用運動 今回のテーマは「健」です！

利用人数目標 5,100人 (前年比 101%) 供給目標額 1,400万円 (前年比 110%)



2021年秋の全員利用運動のテーマは「健」です。健は、「健康」「健やか」を表しています。

このテーマを決めるのは、理事長である私の仕事です。どうやって決めるのかと言いますと、全利用運動で扱う商品の説明を聞きながら決めます。今回、商品の説明を一つ一つ聞いていると、「無添加」「低糖質」「個包装」「ヘルシー」「無塩」「薬品を使わず」という健康に関わる言葉が次から次へと出てくることに気が付いたのです。安全・安心な商品を届ける生協ですから当たり前と言えば当たり前なのですが、今回もその主義をしっかりと守って商品選定されていました。皆さんには9月末から10月初めに募集が始まり、商品は11月に届くと思いますが、今回も購入をよろしくお願ひします。

また、先月号にも書きましたが、「運動」と名を付けるからには、その目標をしっかりと達成しなければならないと思います。特に利用人数5,100人になるように頑張ります。お隣さんにも声をかけて、学校生活協運動を進めるために協力して下さい。お願ひします。

### 7月までの経常剰余は予算を417万円上回りましたが、マイナス335万円の赤字です。

7月累計で伸長している部門は、カタログ358万円(予算比113% 前年比108%)、リフォーム1,069万円(予算比178% 前年比550%)でした。指定店一般1,173万円(予算比123% 前年比137%)、ガソリン事業4,234万円(予算比128% 前年比111%)となりました。自主供給2部門と指定店供給2部門が好調を維持しており、総供給高は22,511万円(予算比102% 前年比102%)となりました。事業剰余も、自主、指定店ともに目標をクリアしています。9月が上半期決算となります。この調子で上期を乗り切りたいと思います！

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

### 『マキュアベリ』

北本 豊春

中世の最終時期に登場したのがマキュアベリです。マキュアベリは軍制に関して『君主論』という著作を残しています。古代ローマ帝国が滅亡した後イタリアの地域にはヴェネツィア共和国、フィレンツェ共和国、ナポリ王国、ミラノ公国、教皇領その他の小国が群雄割拠し互いに勢力を競い合い覇権を得ようと睨み合っていました。常にフランスやスペインと言った大国の脅威に晒され大国の横暴に手を焼いていました。フィレンツェ共和国で書記局書記官の任に就いていたマキュアベリは、大国との難しい交渉に尽力し他地域との緊迫した戦いの状況を目にして軍制の改革を痛感しました。フィレンツェ共和国の傭兵たちがピサを攻めた際には、後一步でピサ陥落と言う局面に至って傭兵たちが撤退してしまいます。市街戦で命を落とせば傭兵商売が成り立たないと踏んだ傭兵たちが戦を放棄してフィレンツェへと撤退をしたのです。マキュアベリは、傭兵に不信感を抱き他力を頼りにする戦が成り立たないと言う事実を痛感しました。そこで、常備軍を提起、自国の国民による軍隊で防衛・攻撃を成す必要性を強調したのです。軍事訓練を厳格に実施し司令官は着実な統率能力を持つ必要性があると説きました。軍の戦意を高め兵士の戦う意思を高揚させるために司令官には兵士の心を掴むことのできる有効な演説の能力が必要だと主張しました。マキュアベリは、中世と言う殺伐で不安定な時代が生み出した軍事思想家だと言えます。

### 編集後記

今年の稲作は、2勝1敗！

兄から3枚の田んぼの稲作を引き継いで4回目の収穫です。1年に一作ですから、まだまだ分からないことばかりで、毎日隣の田んぼの水を見ながら育てています。それで、1年目は2勝1敗、2年目は1勝2敗、3年目は3勝という具合で、去年は本当にうまく育って豊作でした。今年も同じように育てたつもりなのに、1枚の田んぼは、草が一杯生えて、その上風で倒れて、早く刈り取ってしまいました。私としては同じことをしているのですが、天候と草の状態が違うのでしょうか。来年は、自然をうまく使って3勝を目指して頑張ります。

(少ししょんぼりしている道祐)